

第36回日本レーザー医学会総会会長



会長 : 獨協医科大学・医療情報センター 中村哲也 教授

テーマに「光をもちいた診断と治療」を掲げ、レーザーを中心とする医療の安全性確保を大前提に、臨床医学・歯学、獣医学、基礎医学領域における光をもちいた診断と治療についての学会を企画した。奈良先端科学技術大学院大学客員教授の矢野重信先生に「医工連携による先端光医療用糖鎖連結光感受性物質の開発」と題した特別講演をしていただいた。主題演題(シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ)および一般演題(総会賞選奨セッションを含む)あわせて計98演題でプログラムを構成した。学会初日夕方のイブニングセッションに続けて行われた会員懇親会では、宇都宮餃子の屋台に特に人気が集まり大勢の参加者で賑わった。また学会2日目の午後には、安全教育講習会およびレーザー専門医試験を同時開催した。遠隔地からのアクセスがあまり良くない栃木県宇都宮市で開催した学会であったが、天気にも恵まれ357名もの参加者に来ていただき盛会裡に終了した。

(中村教授の文章そのまま)

